

群馬大学工業会東海連合支部

－有志によるきららの森散策報告－

1. 日時: 2024年9月20日 8:00～
2. 場所: 段戸裏谷原生林きららの森(標高917m) 愛知県設楽郡
3. 歩行距離: 約2.8km
4. 参加者: 池原さん(48C)、清水さん(49C)、奥山(52E)(記)

当初岐阜金華山登山の予定であったが、9月にもかかわらず気温37℃の予報が出たため山登りの会行事は中止、有志による「段戸裏谷原生林きららの森」の散策に出かけた。

当地は愛知奥三河に位置し紅葉で有名な香嵐溪から約20kmの奥深い高原にあり寧比曾岳(標高1,121m)へと続く登山道の一部である。

ふもとにある約2ヘクタールの段戸湖はニジマスが放流されるルアーフライ釣り場が完備されていた。



ルアーの盛んな段戸湖



左から清水さん、池原さん、奥山

名古屋は予報を上回る37.5℃の猛暑と後で分かったが、きららの森は26℃と涼しく、昼食を取った木陰には心地よい風が通り抜け、秋を感じる赤トンボにも出会えた1日であった。



以上

モミジやシャクナゲ、ブナの原生林が広がる登山道を、アップダウンを繰り返しながら周回すると道中の朽ちた木々はこけに覆い尽くされ、保水力のあるブナの原生林の奥深さを実感することができた。



ブナの巨木の間から